

令和5年度 芽室町総合保健医療福祉協議会

第2回 高齢者・介護部会

会 議 録

芽室町高齢者支援課

第1 日時 令和5年7月26日(水) 18時30分から19時35分まで

第2 場所 芽室町役場 第5,6会議室

第3 出席者 14名 (委員8名、事務局6名)

傍聴者 なし

出席者名簿 : 出席…○ 欠席…×

【委員】

部会役職	所属団体等	職	氏名(敬称略)	出欠
部会長	十勝歯科医師会芽室歯科医会	副会長	家内 典夫	○
	公立芽室病院	院長	研谷 智	○
	芽室町国民健康保険運営協議会	会長	村上 哲也	○
	社会福祉法人 芽室町社会福祉協議会	事務局長	花岡 勇氣	○
	芽室消費者協会	副会長	野崎 美保子	○
	社会福祉法人慧誠会 芽室けいせい苑	施設長	植松 哲子	○
	芽室町老人クラブ連合会	会長	矢野 征男	○
	社会医療法人社団 三草会 介護老人保健施設りらく	事務長	小西 弘和	○
合計				8名

【事務局】

所属課等	職	氏名	出欠
高齢者支援課	課長	坂口 勝己	○
〃	補佐兼 在宅支援係長	佐々木 博史	○
〃 介護保険係	係長	林 宏明	○
〃 介護保険係	主査	高谷 真理子	○
〃 介護予防係	係長	竹内 名恵	○
〃 在宅支援係	主査	柳澤 倫世	○
合計			6名

第4 開会

高齢者支援課長挨拶

第5 委嘱状交付

委嘱状については、6月30日を委嘱日とする協議会の事務処理と本会議の進行の都合により、事前に協議会事務局から交付した。

花岡委員から挨拶

第6 議題

部会長から挨拶

1 第9期芽室町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査について (報告)…資料1__部会当日差し替え資料

事務局

事前に送付した資料1に誤りがあったため、本日配布した差し替え資料を説明する。

意見① 委員

58ページ 問10 あなたは介護保険料についてどのように感じていますか？について、かなり負担、やや負担と回答した方の合計が65.1%になっている。介護保険料は、今後の高齢者人口や介護保険サービスの給付見込により左右されると思われるが、保険料の算定にあたり精査いただきたい。収入が国民年金のみの方にとっては保険料がかなり負担と感じているのではと思われる。

⇒回答 事務局

介護保険料については精査していきたい。

質問② 委員

芽室町の要支援・要介護認定者数を教えて欲しい。

⇒回答 事務局

高齢者人口のおよそ2割が介護保険認定者となるため、約1,100～1,200人である。

意見③ 委員

アンケート調査票の配布数が合計2,260人で高齢者人口のおよそ半数になっている。配布数を増やしては如何か？

⇒回答 事務局

10期計画において検討したい。

2 芽室町の現状と基本目標について(協議)…資料2

事務局 資料 13 ページ⑥ 上から2行目「自宅でも介護を受けられる居住環境があること」を「自宅でもきちんとした医療が受けられること」に修正する。

意見① 委員

6ページ図表9 新規要支援・要介護認定者の要介護度別分布について、要介護1が全道・全国よりも多い理由に「身体機能や認知機能が低下しつつも、身の回りのことを自分でやり、定期的なサービスを必要とするまで自立した状態で日常生活を送れている」と考察しているが、そのような方ばかりではないと認識している。例えば、もっと早い時期に介護保険を申請していれば、要支援認定の期間が長く続き、より介護予防ができるのではないかと特に町の介護予防教室で感じている。

⇒ 追加意見 委員

介護保険の申請時期や認定結果については、御本人の意思や認定調査に影響する因子があるため、一概に「自立した状態で日常生活を送れている」とは言えないのではないかと？

⇒ 回答 事務局

介護保険の申請については、御本人や御家族との合意をもとに進めている。また、考察に記載している内容は、委員の意見をもとに再考する。

意見② 質問

介護事業所の人手不足の現状と今後どのように職員を確保していくのか伺いたい。

⇒回答 事務局

現状は、介護事業所が職員を募集しても応募がなく、現場では余裕のない状態で働いている。加えて、介護福祉士の養成校では定員を満たせず出生数も減少している。町で出来ることは実施していこうと考えているが、職員の確保についてはかなり厳しいと認識している。

⇒回答 委員

介護事業所は常に人手不足で求人している。事業所の努力だけでは職員は確保できない。日本には介護事業所に就労してくれる学生はおらず、外国人やロボットの活用が考えられるが、費用や使い勝手の問題も大きい。

質問③ 委員

24ページ② 住民による支え合いとは、どのようなことか？

⇒回答 事務局

生活支援体制整備事業(ちょこっとサービス)、除雪サービス事業の担い手として町民に協力い

ただいていることを意図している。わかりにくい表現になっているため、より具体的な記載へ修正する。

意見④ 委員

24ページ② 住民による支え合いについて、御本人や御家族には、近所の人に知られたくないという気持ちがあり、芽室町社会福祉協議会や役場に相談するのが多いと考えられる。住民が住民同士の助け合いを望んでいるのか考えて欲しい。

⇒回答 事務局

近所の人に家の中まで見られたくないなどの住民感情があることは理解できる。それでも認知症サポーター養成講座等を活用し、少しずつ理解を深める取り組みを進めたい。

質問⑤ 委員

7ページ(3) 図表11 介護保険新規認定者の疾患について、要支援1, 2の疾患が関節疾患等82.3%になっている。例年と同様の傾向か？

⇒回答 事務局

第8期計画においても、要支援認定者の疾患は関節疾患等が多い状況である。要支援認定者数は過去に比べて減少傾向にあるが、疾患に変わりはない。

質問⑥ 委員

15ページ①イ 手助けを希望する内容に買い物の送迎が挙げられている。じゃがバスの活用状況は如何か？

⇒ 回答 委員

近隣の住民からは、買い物の荷物を持って歩くのが大変と聞いている。また、バス停までの距離の課題があり、高齢者にはドアトゥドアの移動手段が必要と思われる。実際にバスを見ていると乗車している方は少ないように感じる。

意見⑦ 委員

8ページ3(1) 初めて認知症と診断された方は75人と記載されているが、診察時の感触として、診断のついていない認知症の方がもう少し多いように感じる。診断してもらうための手段の検討に踏み込めると良いと思われる。

⇒ 回答 事務局

高齢者にとって精神科を受診するのはハードルが高いと感じているが、身近な病気であることや正しい知識の普及を通じてハードルを下げていきたい。

3 その他

なし

4 閉会

次回の高齢者・介護部会は10月を予定する。

19時35分終了。